

パパが居ない夏休み 子供と一緒にドライブデート

旦那さんが購入したサバーバンは、唯さんにとっても大事な愛車。大きいボディサイズに悪戦苦闘するも、息子さんがサバーバンに乗ってママとドライブするのが大好きで、今日も「一緒に公園までドライブだ。」

ぶつけても知らないよ
が口癖(笑)

撮影前から降る雨が、図太いブライ音を響かせてサバーバンがやってくる。ピタリと止む奇跡。まさに晴れ女&男である加藤唯さんと長男の迅(7才)君。

07年型サバーバンは、正確には唯さんの旦那さんが所有する愛車。旦那さんが仕事の際は、唯さんが買い物や子供の送迎に使い、長い夏休みとなく、ほぼ毎日「今日はクルマで何処に行く？」と、迅君からせがまれるなど、唯さんにとってもサバーバンは欠かせない存在なのだ。

だが「正確こんな大きいクルマは必要ないです(笑)。行きたい場所があっても、道路や駐車場が狭かったりして、行けないこともありますから。これしかないの、で運転しますけど。」と、実際

は運転に悪戦苦闘することも多く、理想はもっとコンパクトなクルマ。でも迅君がサバーバンが大好きで、ママとドライブするのも大好きとなれば、唯さんも運転するしかない。ただせめてもの反抗として、パパに「ぶつけても知らないよ」が口癖となっている。因みに、撮影中のクルマ移動を見る限り、運転に「ビビってる感じはなく、逆に爽快で上手い。前後&サイドにモニターがあり、唯さんにはそれが必須アイテムで「モニターがないと絶対に無理!」と。過去にアストロ、ナビゲーター、マスタングなどのアメ車に乗ってきた旦那さんが、家族のために一度国産車を換み、ジェットスキーなどのレジャーを楽しむ目的で、ヒッチが装着している4WDとして4年前にサバーバンを購入。購入までは、唯さんに相談することもなく車種が決まっていた。ボディカラーは何が好き?と言われ、唯さんは「白」と答えると、気がついた家に白のサバーバンがやってくるという。そしていつしかゴツゴツのタイヤ、唯さんと会話でリフトアップも施され、「子供を乗せるのが大変」と文句を言うおうち思ったら、迅君が大喜びしたから強く言わず、今に至っている。今ではアメ車好きの旦那さんに影響されてか、迅君はアメ車のが大好きで、クルマの絵を書くことどんなクルマにも「ヒッチ」が装着されているとか。

なんだかんだサバーバンに対して不満もある唯さんではあるが、「広い道をのんびり家族で走るのは楽しい」と語る。そして、いつしか乗ってみたいクルマはオープンカーだぞうだ。これをもし旦那さんが聞いたら、サバーバンで買って来ちゃうかも?



迅君(7才)、楓ちゃん(4才)の二児の母である唯さん。実は今日の撮影がクルマだけだと思い、「危うくスピンで来たところでした(笑)」と大慌て。ラゲージには夏を満喫するレジャーアイテムが満載。「パパが昨日の夜に綺麗にしましたよ」と言うが、普段はもっとギッシリようだ。とにかくサバーバンのが大好きな迅君の、一番のお気に入りのホイールらしい。撮影当日の段階で、夏休みの宿題は「まだ」のようです(笑)



ジェットスキーをやる目的で、ヒッチ装着、4WD車ということでサバーバンを購入。のちにF3、R2インチのリフトアップを行ない、ホイールはロックスターの20インチでMTタイヤを組み合わせる。サバーバンを購入したもう一つのポイントとして、1列目中央に補助シートの設定があること。LTZには設定がないアイテムだが、家族が並んで座れるとして、わざわざ取り寄せて設置。しかし唯さんによれば、あまりここに子供が座ることはないらしい。



☆Photo: 浅井岳男 Text: 相馬一文
☆Special Thanks: グレイスキャブ URL: <http://gracecab.jp/>

AMERICAN CAR OWNERS REAL LIFE
アメ車乗りたちの素顔

owner: Yui Katou

'07 Chevrolet Suburban LTZ